



障害者 福祉情報

124号 2010年11月

編集・発行

社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会

〒816-0804 春日市原町3丁目1番地7

クローバープラザ

TEL 092-584-3330 FAX 092-584-3319

<http://www.cloverplaza.or.jp/>

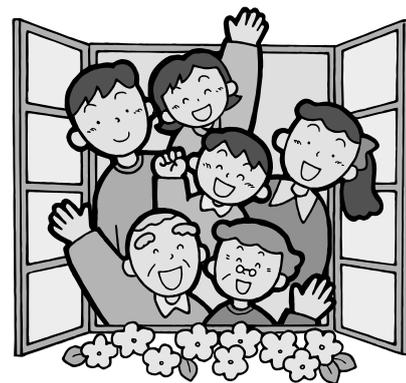
[shakyou/sho/sho_index.htm](http://www.cloverplaza.or.jp/shakyou/sho/sho_index.htm)

精神障害のある人の安心した地域生活に向けて

福岡県では、障害のある人が地域で自立した社会参加ができる社会をつくるため、「福岡県障害者福祉計画」に基づき、福祉施設入所者の地域生活への移行を進めるとともに、地域における受け入れ体制の整備に取り組んでいます。

また、精神障害のある人については、精神科病院に入院し治療を受けている人のうち、受け入れ条件が整えば退院が可能な人(以下「退院可能精神障害者」という。)の地域移行を前提に進めるとともに、地域で生活している在宅の精神障害者が地域で生活を続けていけるような体制づくりを行っています。

今号では、本県における精神障害者の地域生活支援の取り組みについて紹介します。



もくじ / 通巻124号

- ・精神障害のある人の安心した地域生活に向けて 1～4
- ・第30回手をつなぐ育成会福岡県大会が開催されました 5
- ・字幕ビデオライブラリーをご存知ですか? 6
- ・お知らせ 7
- ・ほんだな 8



福岡県における精神障害者の
地域生活支援の取り組みについて

精神障害者の
地域生活支援を促進

福岡県によると、平成18年6月
末現在、本県における精神科病院
の入院患者数は約2万人であり、
その約7割が、1年以上の長期入
院患者です。

また、入院患者数の約1割が退
院可能精神障害者となっていま
す。

病状が回復し退院が可能な状態
となっても、家族の都合や地域で
の受け入れに対する理解を得るの
が難しいといった事情や、受け入
れ施設が少ないという理由など
により、地域移行が困難となる場合
があります。

このような状況をふまえ、県で

は、精神障害者が地域で安心して
生活ができるよう地域での支援体
制の充実のための取り組みを行っ
ています。

地域が一体となった支援を
— 精神障害者地域支援事業 —

精神障害者の地域での自立した
生活と社会参加に向け、県では、
平成20年度から精神障害者地域支
援事業に取り組んでいます。

この事業は、県保健福祉環境事
務所（保健福祉事務所）に地域体
制整備コーディネーターと地域移
行推進員を配置し、各保健医療圏
域で開催される自立支援関係機関
会議との連絡調整を図りながら、
精神障害者の地域移行と、在宅の
精神障害者が地域で生活が継続で
きるようにするための支援を行
います。

自立支援関係機関会議は、県保
健福祉環境事務所（保健福祉事務
所）、精神科病院、管内市町村、福
祉サービス事業者、家族会関係者

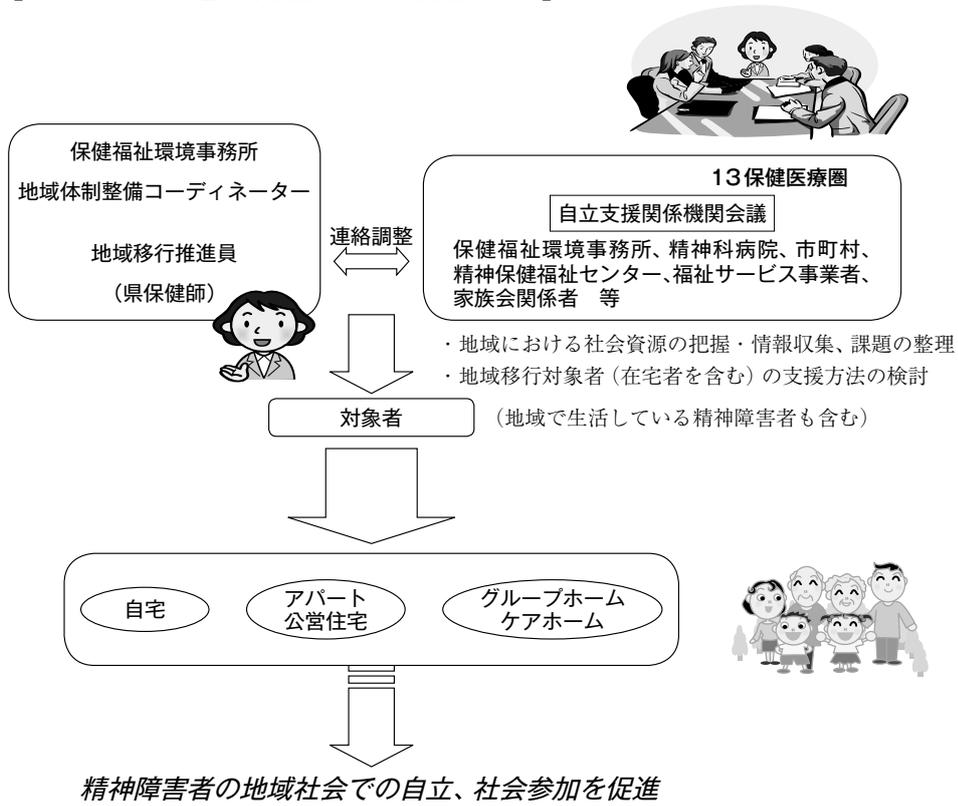
等で構成されます。なお地域自立
支援協議会の精神部会とは、連携
した運営がなされるよう図られて
います。

地域の関係者がネットワークを

つくり、地域の現状と課題を把握
し、課題について検討することは、
対象者の円滑な地域生活の支援に
つながります。

本人・家族が安心した地域生活

【精神障害者地域支援事業の支援体制】



(福岡県提供資料)



を送れるよう、今後もさらに地域の関係機関と連携し、事業を展開することが期待されます。

精神障害者に対する

正しい理解の普及を

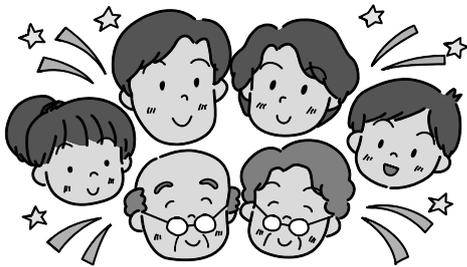
入院していた精神障害者が、退院し地域で生活する際には、恐怖心や緊張を伴います。

一方、家族や地域住民の中には、障害への理解不足から、精神障害者への対応がわからず、不安を抱く人がいます。

精神障害者や周囲の人が、共に地域で安心して暮らすためには、精神障害についての正しい理解と、本人へのあたたかい支援が何よりも必要なは言うまでもありません。

県精神保健福祉センター、保健福祉環境事務所等では、各種講演会や大会等を通じて、

障害に対する正しい理解の普及に努めています。



また、市町村や関係団体等と連携し、こころの問題・病気で困っている本人や家族、身近な人からの相談に応じています。(相談窓口については、次頁に掲載)

障害のある人もない人も、同じ地域で暮らす人が、互いを尊重し助け合える社会となるよう、私たち関係者をはじめとする多くの人の持続した取り組みが必要です。

こころの健康について考えてみませんか？

～「こころの健康づくり大会」を開催します～

年間自殺者が3万人を超える現代において、うつ・自殺予防対策は国をあげての急務の課題です。うつ病は、誰もがなりうる病気であり、早期に発見し、適切な治療を行うことが重要です。うつ病について正しく理解するとともに、自分自身、家族、友人のこころの健康について考えてみませんか？

【日時】 平成22年11月17日(水) 13時～16時(受付12時)

【場所】 石橋文化センター共同ホール (久留米市野中町1015)

※入場料無料、事前申込不要

駐車場が少ないため、なるべく公共交通機関をご利用ください。

【内容】 表彰 福岡県知事表彰、福岡県地域精神保健協議会長表彰
記念講演

「うつ病の時代どう生きていますか」

久留米大学医学部 神経精神医学講座 教授 内村直尚 氏
アトラクション

【問い合わせ先】 福岡県保健医療介護部健康増進課 精神保健係

TEL 092-643-3265 FAX 092-643-3271





【心の不安・悩みに関する相談窓口】

	名称	TEL	受付時間	所在地
精神保健	福岡県精神保健福祉センター (電話・来所) ※来所相談は予約制	092-582-7500	月～金 8:30～17:15 (土・日・祝休日・ 年末年始は除く)	春日市原町 3-1-7 南側2階
	福岡市精神保健福祉センター (電話・来所) ※来所相談は予約制	092-737-8826	月～金 10:00～12:00 13:00～16:00 (土・日・祝休日・ 年末年始は除く)	福岡市中央区舞鶴2-5-1 あいれふ6階
	北九州市については、各区役所保健福祉相談コーナーとなります。 受付時間：月～金 8:30～17:15 (土・日・祝休日・年末年始は除く) 門司区：093-321-4800 小倉北区：093-582-3430 小倉南区：093-952-4800 若松区：093-751-4800 八幡東区：093-671-4800 八幡西区：093-645-4800 戸畑区：093-881-4800			
	このほか、福岡県内の各保健福祉環境事務所、福岡市の各区保健福祉センターでも窓口を設けています。			
こころ	ふくおか自殺予防ホットライン	092-592-0783	24時間	自殺を考えている方等からの心の悩みに関する相談
	福岡いのちの電話	092-741-4343	24時間	
	北九州いのちの電話	093-671-4343	24時間	
	北九州市自殺予防こころの相談電話	093-522-0874	月～金 10:00～16:00 (土・日・祝休日・ 年末年始は除く)	
	自殺予防いのちの電話 ※全国にあるいずれかのいのちの電話につながります	フリーダイヤル 0120-738-556	毎月10日 8:00～翌8:00	
	いのちの電話インターネット相談 アドレス http://www.inochinodenwa-net.jp 「いのちの電話インターネット相談」で受付けています。 ※相談受付後1週間ほどで、申告したメールアドレスに返信があります。			
	心の健康相談電話	092-582-7400	月～金 9:00～16:00 (祝休日は除く)	悩みを聴いて欲しい方のための電話相談
	心の電話(福岡)	092-751-5560	火～金 10:00～15:00 (祝休日は除く) ※水曜は午前中のみ	
心の電話(筑豊)	0948-29-2500	月～金 18:00～21:00 (祝休日は除く)		
心の電話(筑後)	0942-36-1313	月水金 13:00～16:00 (祝休日は除く)		

本人・家族に
地域の仲間を



同じ立場の仲間を地域で見つけ、情報や想いを交換しあうことは、本人や家族にとっても何よりも心強い力となるのではないのでしょうか。

デイケア、地域活動支援センター、共同作業所では、精神に障害のある人が、対人関係や社会性の改善などを目的に集まり、グループで創作やスポーツ・レクリエーション、学習会等の活動を行っています。また、精神障害者の家族会では、思いを共有するほか、障害や制度等についての学習会を行っています。

これらの情報については、精神保健福祉センターや保健福祉環境事務所、市区町村窓口へ問い合わせください。

なお、本会発行の「福岡県障害者福祉情報ハンドブック2010」には、地域の社会資源名簿を掲載しています。

第30回 手をつなぐ育成会 福岡県大会が開催されました

去る9月25日、「手をつなぐ育成会福岡県大会」が春日市のクローバープラザにおいて開催されました。

同大会は、福岡県・福岡市・北九州市の3育成会が、知的障害児者の福祉の増進を目的に合同開催するもので、今年で30回目を迎えます。

今年と同会会員と福祉関係者等245人が参加し、現在検討されている「障がい者総合福祉法（仮称）」に関する中央情勢報告とともに、今後、知的障害者の権利が守られ、安心して地域で暮らせる社会を実現するにはどうすればよいかを考える基調講演とシンポジウムが行われました。

「総合福祉法（仮称）」

に関する中央情勢報告

中央情勢報告については、全日本手をつなぐ育成会の北原副理事長が行いました。

国では、平成25年8月までに自立支援法を廃止し、新たな法制度「障がい者総合福祉法（仮称）」を実施することとしています。

また、そのために推進体制として、推進本部と推進会議が平成21年12月に設置、今年4月から総合福祉部会が開催されています。

全日本手をつなぐ育成会においては、大久保常務理事が推進会議のメンバーの一員となり、当事者及び関係団体の立場からの意見を推進本部へ提出しているところです。

中央情勢報告では、これまでの経緯のポイントとともに、育成会としての考えが述べられました。

障害者制度改革の動きについては、マスコミによる報道をはじめ、関係団体独自の勉強会が積極的に行われています。しかし、「難しくてもよくわからない」と思われている人もまだまだ多くおられます。

参加者からは、どうすれば家族みんなが安心して暮らしていけるのか。そのための勉強会が、このようにわかりやすく、今後も行われてほしいとの声が聞かれました。

障害があっても豊かで安心な

地域生活の実現に向けて

基調講演では、福岡県立大学の門田教授が「知的障害のある人たちの権利擁護の現状と今後」というテーマで講演を行いました。

講演では、養護学校卒業後、親を亡くした当事者の地域生活の事例を通し、知的障害のある人の自立した地域生活に向けて、どのような支援が必要なのか、わかりやすく説明されました。

また、これに関連し、シンポジウムでは、「障害があっても豊かで安

心な地域生活の実現に向けて」をテーマに、門田教授がコーディネーターとなり、県障害者福祉課、知的障害のある息子をもつ母親、当事者からの発表がありました。

母親からは「本人や親のためにも、子どもが年相応に家族と適切な距離をとり、仲間や支援者と共に暮らしてほしい」「地域で暮らすには、住む場所、仕事の場、余暇活動が必要だが、周囲の理解がなければ本人や家族が望む生活はできない」「今まで、子どもの成長段階にあわせてそれぞれの機関からの支援、いわゆる『点』の支援を受けてきた。これからは『点』と『点』が結びつき、本人の一生をトータルで見守ってくれるネットワークとなってほしい。どこかで誰かが見守ってくれる社会となるのが親の一番の希望であり、一人でも多くの理解者を増やすのが親の役割なのではないだろうか」という思いが語られました。





字幕ビデオライブラリーをご存知ですか？

福岡県聴覚障害者センター内にある字幕ビデオライブラリーでは、県内に在住する聴覚障害者の方等を対象に、聴覚障害者向け字幕※を挿入したビデオ・DVDの貸出を行っています。所蔵作品は、ドラマ・バラエティ・子ども向け番組等のテレビ番組が中心で、中には、同センターが養成した字幕制作ボランティアによるものもあります。

利用に関する詳細は、下記へ問い合わせください。

※聴覚障害者向け字幕では、セリフのほかに効果音やBGMも字幕で表示されます。また、画面の外の人物が発言した時などは話者を明示したりと、聴覚障害者が理解しやすいように工夫されています。

利用できる方

- ・県内在住の聴覚障害者
- ・県内手話の会に所属する者・手話講習会受講生・福岡県聴覚障害者協会賛助会員（自主制作ビデオ及び青いシールのあるビデオのみ貸出可）
- ・その他施設長が貸出を認めた者

※著作権法により、健聴者に対する手話や字幕のついたドラマやバラエティなどの貸出ができません。

貸出について

- ・貸出本数 1回3本まで
- ・貸出期間 10日間

※郵送による貸出・返却もできます。（送料実費負担）

字幕制作ボランティアが手掛けたライブラリーおすすめのビデオ

「JNN九州沖縄ドキュメント ムーブ
夢は福祉ネイリスト～障害者自立支援
プロジェクト～」
RKB毎日放送/H20.3.3

生まれつき重度の難聴である福岡市在住の女性が、障害者自立支援プロジェクト「福岡福祉美容協会」の第1期生となり、聾学校の恩師に手話通訳などをしてもらいながら、お年寄りや病院の入院患者を相手にする「福祉ネイリスト」になるまでのドキュメント。

【問い合わせ先】

福岡県聴覚障害者センター
（春日市原町3-1-7 クローバープラザ東棟3階）
TEL 092-582-2414
FAX 092-582-2419



字幕制作
ボランティア
養成中！



福岡県聴覚障害者センターでは、県内在住の方を対象に、平成9年度から字幕制作ボランティアを養成しています。

今年度は、10月からステップアップ編として、昨年度までに入門編を修了した8名が意欲的に取り組んでいます。

現在、国では字幕放送の普及を図っているところですが、私たちの中にも、地上デジタル放送への移行をきっかけに、字幕放送への関心が高まった人が多いのではないのでしょうか。

健聴者も聴覚障害者も、誰もが同じように映像文化を楽しめる社会となるよう望むとともに、今後の字幕制作ボランティアの活躍に期待します。

募集



平成23年度 福岡障害者職業
能力開発校 訓練生募集

【募集対象】

- ・身体障害者手帳取得者又は、取得可能な方
- ・療育手帳取得者又は、児童相談所、障害者更生相談所、障害者職業センター等で発行される知的障害者と認める判定書を提出できる方
- ※身体・知的以外の障害をお持ちの方は、要相談

【募集内容】

- ①身体障害者(高校卒業程度又はこれと同等の学力を有する18歳以上の方)対象

▼募集訓練科目

- ・コンピュータ製図科(機械製図科)

- ・プログラム設計科
- ・商業デザイン科
- ・OAビジネス科(OA事務科)
- ・福祉住環境科(建築設計科)
- ▼定員 各科20人

- ②身体障害者(義務教育修了者又はこれと同等の学力を有する方)対象

▼募集訓練科目

- ・ネットビジネス科

- ▼定員 30人(うち5人は、音声パソコン利用を希望される重度視覚障害者)

- ③知的障害者(義務教育修了者又はこれと同等の学力を有する方)対象

▼募集訓練科目

- ・総合実務科

- ▼定員 20人

【訓練期間】

- 1年間(プログラム設計科は2年間)

【応募締切】

- 平成23年1月7日(金)必着

【応募・問い合わせ先】

- 居住地を管轄する公共職業安定所(ハローワーク)

催し

企業と障害者のための
合同フォーラム

▼日時

- 平成22年11月17日(水)
12時30分～17時

▼場所

- エルガーラ 中ホール
(福岡市中央区天神1-4-2)

▼対象者

- 福岡県障害者雇用拡大事業を利用し、求職者登録している方
※事前申込みが必要です。

▼内容

- 求人企業10～15社程度と求職障害者との面談会

▼問い合わせ先

- (株)ジャストヒューマンネットワーク

- ☎092-1726-6800
- FAX 092-1726-6801

第5回 福点まつり

▼日時

- 平成22年11月28日(日)
10時から15時

▼場所

- 福岡点字図書館
(春日市原町3-1-7 クロイバープラザ東棟3階)

▼内容

- 視覚障害者の方向けの便利グッズの紹介・販売、バザー、地デジの説明会

▼問い合わせ先

- 福岡点字図書館
☎092-5884-3590
FAX 092-5884-1101

2010 福岡県障害者文化祭

▼日時

- 平成22年12月4日(土)
10時から17時

▼場所

- エルガーラパサージュ広場
(福岡市中央区天神1丁目)

▼内容

- JOY倶楽部ミュージックアンサンブルによる演奏、障害者の作品(絵・写真・俳画)の展示、「障害者週間」PRちらし・紙風船の配布、障害者疑似体験

▼参加費 無料

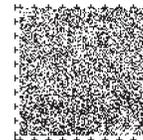
▼問い合わせ先

- 福岡県障害者文化祭実行委員会
(福岡県身体障害者福祉協会内)
☎092-5884-6067
FAX 092-5884-6070





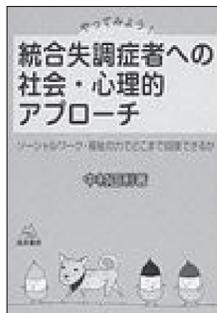
福祉情報センターでは、福祉に関する
図書・ビデオの閲覧・貸出を行っています。



- 利用時間 9:00~17:00
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日・第4月曜日は除く)
- 貸出 図書・ビデオ 合計10点まで
※貸出の際は、クローバープラザ利用者カードが必要です。
※遠方の方や外出が困難な方のために配送での貸出返却も行っています。(送料実費負担)
- 貸出期間 2週間以内
- お問合せ先 福祉情報センター 〒816-0804 春日市原町3丁目1番地7
☎ 092-584-3330 FAX 092-584-3319

「やってみよう!統合失調症者への社会・心理的アプローチ ソーシャルワーク・福祉の力でどこまで回復できるか」

中村正利 著
出版:遠見書房



共同作業やグループミーティングなどを用い、仲間づくり・仲間体験を重ねる社会・心理療法を生物学的治療と並行すれば、より現実的な回復が望める統合失調症。患者を社会復帰に導くその理論と実際を詳述する。

「さわる文化への招待」

広瀬浩二郎 著
出版:世界思想社



中学1年で失明した著者が、見えない人生のなかで気づいた「豊かな触生活」とは一。旅行や点字、花見、武道など、さわって「みる」楽しさとともに、「さわる文化」の広くて深い世界を紹介する。カバーに点字付き。

「自閉症スペクトラム 青年期・成人期のサクセスガイド3 当事者が語る結婚・子育て・家庭生活」

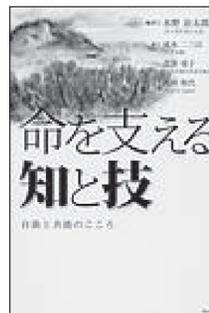
服巻智子 編著
出版:クリエイツかもがわ



うまくいっていいそうに見えても、家族の理解や周囲の支援なくしては生活の維持が困難な発達障害者の結婚・子育て・家庭生活。新たな自分研究や周囲の人たちとうまくやっていく工夫を紹介する。

「命を支える知と技 自助と共助のこころ」

水野治次郎 編著
出版:久美



重度障害者を支える施設をつくった福祉の専門家など、人々との強い結びつきを背景に、社会貢献活動を推進する4人が、これまでの活動を振り返る。

